

# DAISUI REPORT

 株式会社 大水

証券コード：7538

## 第91期株主通信

(2025年4月1日～2026年3月31日)





株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第91期(2025年4月1日～2026年3月31日)の株主通信をお届けし、当社グループの事業状況等をご報告申し上げます。

2026年6月

代表取締役社長執行役員 **山橋 英一郎**

## ▶当連結会計年度の経営成績

近年、日本の水産業を取り巻く状況は大きく変化しております。不漁が続いていたサンマやイカでは漁獲回復の動きも見られましたが、以前と比べると水揚げはなお限定的な状況です。一方で、安定供給が可能な養殖魚への需要は増加しているものの、資材価格や物流費、人件費などの上昇により、販売価格は高止まりした状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループの業績は、サンマやイカの漁獲量増加に加え、養殖マグロ、タイ、サーモンの取扱数量が堅調に推移いたしました。また、海外向け冷凍魚や国内加工メーカー向けスリミの販売も好調となりました。

売上高は1,057億70百万円(前期比6.5%増)となりました。人件費・諸物価の高騰により固定

費は増加したものの、営業利益は8億99百万円(前期比32.1%増)、経常利益は10億54百万円(前期比27.8%増)となりました。当期純利益は、前期に税効果会計の影響による利益押し上げ要因があった一方、当期はその影響がなくなったことなどにより、7億30百万円(前期比38.6%減)となりました。

## ▶対処すべき課題

水産流通業界では、水産資源や物流環境の変化、各種コストの上昇など、大きく変化しております。当社グループでは、「前を向き、スピードをもって構造改革を進める」を基本方針として掲げ、組織的な営業力と調達力の強化、市場営業部門と外販部門の連携強化、物流機能の効率化など、事業基盤の強化を進めてまいります。また、

多様化するお客様ニーズに対応するため、原料調達から加工・販売までを意識した提案力向上にも努めてまいります。2030年度のあるべき姿「生き生きと水産物の価値をお客様に提供し続ける企業」を目指し、今後も事業環境への対応力を高めながら、持続的な成長と企業価値向上に努めてまいります。

## ▶ 中期経営計画の結果

当期は中期経営計画の最終年度となり、当初掲げていた数値目標を達成することができました。

(百万円)

(連結)	売上高	営業利益	経常利益
2025年度 数値目標	104,000	690	790
2025年度 実績	105,770	899	1,054

## ▶ 配当について

当社は、経営体質の強化と将来の事業展開に備えるために内部留保の充実を図りつつ、株主の皆様へ安定した配当を継続的にを行うことを基本方針としております。

当連結会計年度の期末配当については、通常配当を1株あたり1円増額し、7円といたしました。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、何卒よろしく申し上げます。

## ～ 水産流通の昔と今 ～

かつて市場では、魚が並ぶ売場で活発なセリが行われていました。現在では販売先のニーズに応じた「相対取引」が主流となり、荷物が市場へ到着する頃には商談が成立していることも少なくありません。

流通形態も時代とともに進化しております。鮮度や品質を維持するため、各市場では低温売場の整備が進み、2021年にリニューアルした京都市中央卸売市場の水産棟は、関西初の閉鎖型施設として生まれ変わりました。

市場の風景は大きく変わりましたが、水産物の価値をお客様へ届けるという役割は今も変わりません。当社グループは、地域の食文化を支えながら、伝統と革新の両立を追求してまいります。

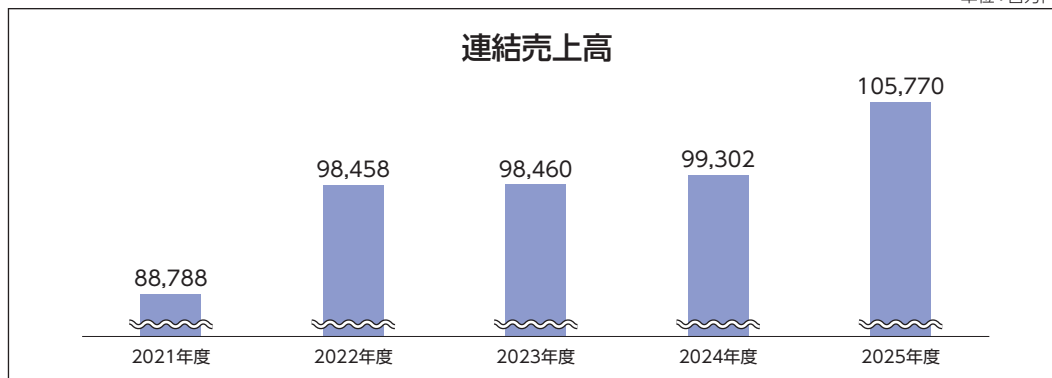


大阪市中央卸売市場でのセリ風景（1951年頃）

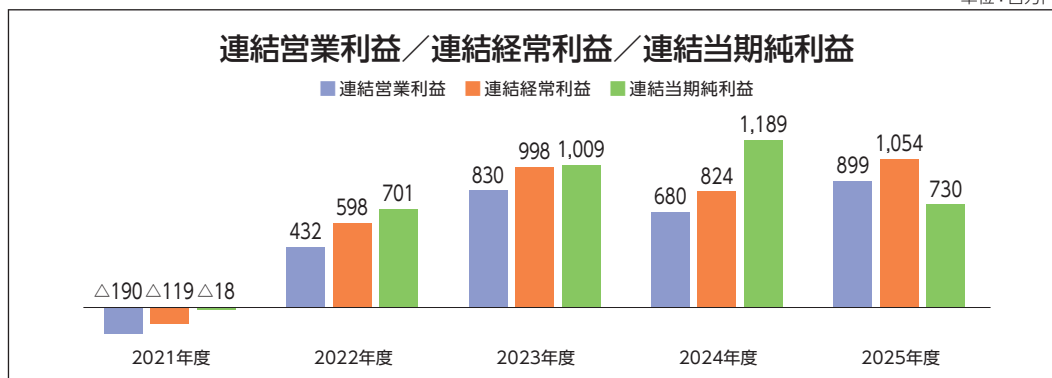


現在の京都市中央卸売市場水産棟

単位：百万円

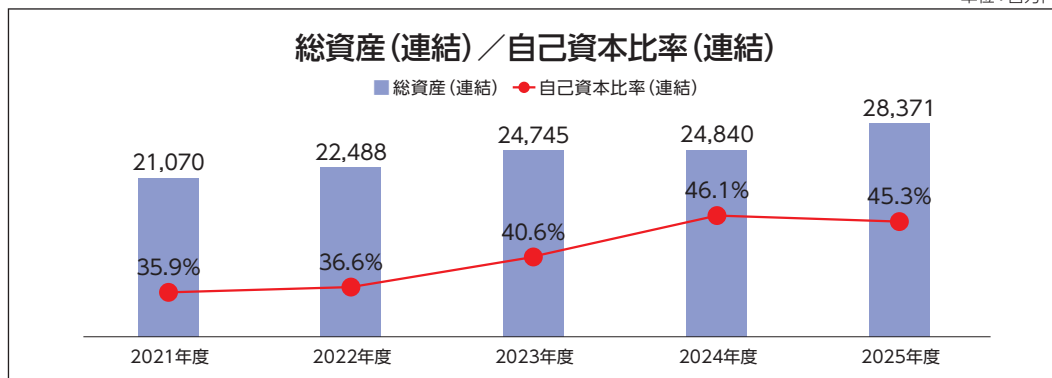


単位：百万円



※2021年度は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受けた年度となっております。

単位：百万円



# 連結財務諸表(要約)

## ▶ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期末 (2025年3月31日現在)	当期末 (2026年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	17,912	20,181
固定資産	6,927	8,190
有形・無形固定資産	2,876	3,000
投資その他の資産	4,051	5,188
資産合計	24,840	28,371
<b>負債の部</b>		
流動負債	9,613	11,434
固定負債	3,768	4,093
負債合計	13,382	15,528
<b>純資産の部</b>		
株主資本	9,145	9,817
その他の包括利益累計額	2,312	3,025
純資産合計	11,457	12,842
負債・純資産合計	24,840	28,371

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ▶ 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期 (2024年4月1日から 2025年3月31日まで)	当期 (2025年4月1日から 2026年3月31日まで)
売上高	99,302	105,770
売上原価	92,678	98,642
売上総利益	6,623	7,127
販売費及び一般管理費	5,942	6,227
営業利益	680	899
営業外収益	306	338
営業外費用	162	184
経常利益	824	1,054
特別利益	2	—
特別損失	—	3
税金等調整前当期純利益	826	1,050
法人税、住民税及び事業税	77	256
法人税等調整額	△440	64
親会社株主に帰属する当期純利益	1,189	730

## ▶ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前期 (2024年4月1日から 2025年3月31日まで)	当期 (2025年4月1日から 2026年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,062	△1,064
投資活動によるキャッシュ・フロー	△296	△343
財務活動によるキャッシュ・フロー	12	964
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,338	△443
現金及び現金同等物の期首残高	4,339	3,001
現金及び現金同等物の期末残高	3,001	2,558



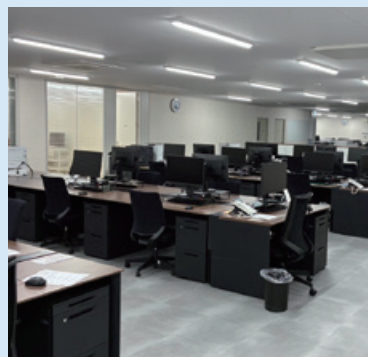
## ●ホームページを全面リニューアル

2026年4月、当社ホームページを全面リニューアルしました。昨年公開した採用情報に加え、コーポレート動画やIR情報などのコンテンツを充実させております。



## ●京都支社事務所を移転

2026年2月、京都市中央卸売市場の施設整備に伴い、京都支社事務所を「新関連棟」へ移転いたしました。各部署をワンフロアに集約し、業務効率向上と部署間のコミュニケーション強化を図っております。



## ●魚籃観音像 修復完了のご報告

四国八十八ヶ所霊場の第二十三番札所 薬王寺（徳島県海部郡）にて、当社が50年前に寄進した「魚籃観音像」の修復工事が2025年9月に完了し、開眼法要が執り行われました。



# 会社情報・株式情報

## ▶ 会社概要

(2026年3月31日現在)

会社名	株式会社 大水 (DAISUI CO.,LTD.)
事業内容	生鮮、冷凍、加工水産物の卸売事業
設立	1939年4月7日
資本金	1億円
従業員	連結438名 単体325名
事業所	本社・大阪本場支社、東部支社、 北部支社、京都支社、神戸支社、 神戸東部支社

## ▶ 取締役及び監査役

(2026年6月29日現在)

代表取締役社長執行役員	山橋英一郎
取締役専務執行役員	湯上信元
取締役常務執行役員	金岡正倍
取締役常務執行役員	三谷拓己
取締役執行役員	西山康成
取締役(社外取締役)	松葉知幸
取締役(社外取締役)	谷内満
常勤監査役(社外監査役)	齋藤守
監査役(社外監査役)	百々季仁
監査役(社外監査役)	田中豊

## ▶ 株式の状況

(2026年3月31日現在)

発行可能株式総数	47,800,000株
発行済株式の総数	13,774,819株
株主数	4,402名
単元株式数	100株

## ▶ 大株主の状況

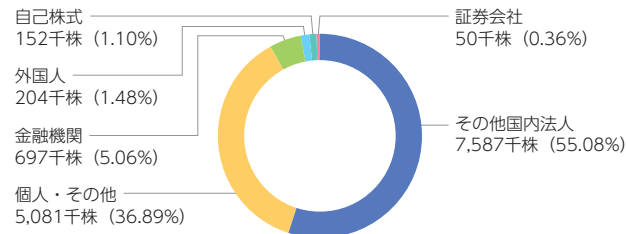
(2026年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社 ニッスイ	4,303	31.59
株式会社 極洋	1,180	8.66
農林中央金庫	694	5.09
大水従業員持株会	480	3.52
二チモウ株式会社	450	3.30
中部水産株式会社	259	1.90
寶船冷蔵株式会社	225	1.65
利州株式会社	215	1.58
大起産業株式会社	196	1.44
水野直明	160	1.17

- (注) 1. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。  
2. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

## ▶ 所有者別株式分布状況

(2026年3月31日現在)



- (注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。  
2. 持株比率は小数点第2位未満を切り捨てて表示しております。

## ▶株主メモ

上場市場	東京証券取引所スタンダード市場 (証券コード7538)	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月	
基準日	定時株主総会	毎年3月31日
	期末配当	毎年3月31日
	中間配当※実施する場合	毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	
電話照会先	0120-782-031 (フリーダイヤル)	
公告方法	電子公告 ( <a href="https://www.pronexus.co.jp/koukou/7538/7538.html">https://www.pronexus.co.jp/koukou/7538/7538.html</a> ) やむを得ない事由により、電子公告による公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。	

## ▶株式に関するお問い合わせ先

内容	お問い合わせ先
単元未満株式の買増、買取のご請求	株主様の口座のある証券会社 * 口座をお持ちでない株主様（特別口座の株主様）は下記の三井住友信託銀行株式会社にお問い合わせください。
届出住所のご変更	
郵便物の発送に関するご照会	三井住友信託銀行株式会社 0120-782-031
株式に関するその他のお問い合わせ	※受付時間は9時～17時 (土・日・祝日及び12/31～1/3を除く)

## ▶単元未満株式の買増、買取請求のお手続きについて

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式については市場で売買できませんが、当社に対して100株となるように買増請求(購入)することができます。また単元未満株式を当社に対して買取請求(売却)することもできます。お手続きの方法等のお問い合わせは、上記お問い合わせ先にお申し出ください。

## 🐟ちよこつと魚知識🐟

表紙に使われている魚は「アユ」です。当社は海産物が中心ですが、アユなどの淡水魚も幅広く取り扱っております。アユは独特の芳香から「香魚」とも呼ばれ、スイカに似た香りがするのが特徴です。これは、エサとなる川底の藻類にスイカのような香りの成分が含まれているため、良質なコケを食べて育った証でもあります。

また、6月1日は「鮎の日」に制定されており、全国的に漁が解禁され、夏の訪れを告げる魚でもあります。



〒553-8550

大阪市福島区野田一丁目1番86号 大阪市中央卸売市場内

代表電話:06-6469-3000 URL:<https://www.daisui.co.jp>

